

ISO (品質 環境)マネジメントシステムコンサルティング

認証取得のみを目的としたコンサルティングではありません。顧客と地球の痛みが分かる企業をご支援します

ISOが仕事を増やしていないか

ISO9000、14000の認証取得が年々増加しています。しかしその一方で認証取得後3年くらいから**ISOが要求する文書管理、記録管理に忙殺されて業務の混乱を招いている**ケースが少なくありません。特に工場単位にISO9000とISO14000に個別対応してきた企業では事務作業の増大、重複に悲鳴をあげています。

顧客満足と地球保護の理解が出発点

なんのためにISO認証を取得すべきなのでしょう。私達はISOは取るために努力するものではなく、努力する企業が結果的にISOに適合していることを認められるものだと考えています。ISOのための文書管理、ISOのための工程管理、ISOのための作業記録に意義があるでしょうか。**顧客満足のための品質管理、地球保護のための環境管理**こそISOの理念です。

そこには過酷な業務を要求する考えはありません。**企業の規模、事業特性、組織の成熟度から無理なく着実に実施できるマネジメントシステムを構築することが必要**です。

コミットメントとしての方針

企業がどのようなマネジメントシステムを構築するかは品質方針、環境方針によって宣言されなければなりません。しかしほとんどのISO認証取得企業が宣言している品質方針、環境方針はISOコンサルタントが認証取得目的に提示するサンプル方針を修正しているだけです。本来、**方針(ポリシー)とはコミットメント、つまり神に誓って守るといふ重大な約束を意味します。**

マネジメントシステムはその約束のために誠実に実行され、継続的に改善されていくというのがISOの考え方なのです。

ISOはプラスの側面における継続的改善にこそ意義がある

ISO14000の認証を取得した企業が省エネのために光熱費を削減するために冷暖房の時間を短縮したり、コピー機の利用を制限するなどして認証継続にやっきになっています。しかし、そのような活動に限界があることは明らかです。自宅や取引先といった社外に環境影響を移動させているだけのことも少なくありません。受注活動や労働環境への悪影響など経営そのものに負担を強いているとすればなんと愚かなことでしょうか。ISOは本来、継続的に改善していくことを目指したものです。そのためには**企業の成長とともに増やしていけるプラスの側面における品質完全、環境保全活動**を考えていくべきなのです。



認証取得目的だけのマネジメントシステムではなくITベースのマネジメントシステムで経営改革を

私達が提案するISOコンサルティングは認証取得を目的とするものではありません。ISOによる品質改善、環境保全活動を**企業経営の本質、利益をあげかつ成長していくための経営戦略**としてERPなど経営管理システムとの統合を指向します。

そのためには**情報システムの積極的な活用**は不可欠であると考えています。

杉浦システムコンサルティング,Inc

〒600-8815京都市下京区中堂寺粟田町93 京都リサーチパーク6号館401号

TEL 075 (321) 5528 FAX 075 (315) 8497

Email sugiura@mbox.kyoto-inet.or.jp HomePage <http://www.st.rim.or.jp/> ryoma